

○課程博士

学位記番号	学位の種類	氏名	論文題目	授与年月日
甲137号	博士（芸術学）	ノ 盧 載玉 ^{チェオフ}	朝鮮時代初期山水画の研究	2002/3/20
甲234号	博士（芸術学）	ドヒ 土肥 泰子 ^{ヤスコ}	アンドレアス・ヴェサリウスの『ファブリカ』（解剖図）における科学と芸術の関係	2005/9/24
甲240号	博士（芸術学）	バク 朴 美貞 ^{ミジョン}	植民地朝鮮の視覚表象とその機能 —帝展入選作を中心に—	2005/7/28
甲241号	博士（芸術学）	サトウ 佐藤 守弘 ^{モリヒロ}	トポグラフィの視覚文化論 —19世紀後期から20世紀初頭の日本における景観表象の諸相—	2005/7/28
甲242号	博士（芸術学）	キム 金 インヒ ^{インヒ} 仁姫	韓国獅子舞の変容に関する芸術学的研究	2005/3/31
甲283号	博士（芸術学）	マツモト 松本 直子 ^{ナオコ}	狩野永岳研究 —様式選択の論理—	2007/2/22
甲331号	博士（芸術学）	カワイ 河合 テイコ ^{テイコ} 貞子	ドラクロワの絵画の近代性と音楽の関わり	2008/3/20
甲358号	博士（芸術学）	ヨウ 葉 ブンシュウ ^{ブンシュウ} 文秀	明末青花磁器の研究—「古染付」と呼ばれる磁器の特質—	2008/7/24
甲399号	博士（芸術学）	ナカノ 中野 シホ ^{シホ} 志保	上方浮世絵史再考—北斎様式の「選択」を手がかりに—	2009/3/31
甲408号	博士（芸術学）	ナカマ 中馬 シオリ ^{シオリ} 志織	岸田劉生「麗子像」の受容論—都市新中間層にとっての「でろり」	2010/2/25
甲513号	博士（芸術学）	セキ 関 リュウジ ^{リュウジ} 竜司	アーウィン・パノフスキーと同時代 —パノフスキーの「イコノロジー」からみた二十世紀初頭のドイツの人文科学と美術史学の状況—	2011/9/15
甲514号	博士（芸術学）	クマクラ 熊倉 カズサ ^{カズサ} 一紗	正月用引札の視覚文化論：吉祥図像と広告機能の関係	2011/9/15
甲525号	博士（芸術学）	ムラキ 村木 ケイコ ^{ケイコ} 桂子	近世「長恨歌図」の研究—『長恨歌抄』の世俗化を手がかりに—	2012/3/20
甲567号	博士（芸術学）	ハヤシダ 林田 アラタ ^{アラタ} 新	日本の報道写真をめぐる理論と実践——編集の視点から——	2013/3/7
甲576号	博士（芸術学）	ムラカミ 村上 マサキ ^{マサキ} 真樹	ヴァルター・ベンヤミンの仮象概念についての美学的考察	2013/3/20
甲639号	博士（芸術学）	ウダ 宇多 ヒトミ ^{ヒトミ} 瞳	ブルトンの芸術論とルヴェルディのリリスム概念	2014/3/20

○課程博士

学位記番号	学位の種類	氏名	論文題目	授与年月日
甲735号	博士（芸術学）	イケダ 池田 まこと	実存の危機と言語の危機 ——R・M・リルケの詩学に関する芸術学的考察——	2015/9/17
甲755号	博士（芸術学）	タカウ ダイキ 高藤 大樹	ヘーゲルの芸術哲学と「近代」 ——「理念」と「感性的顕現」との関係を巡って——	2016/3/20
甲756号	博士（芸術学）	フナキ リュウ 船木 理悠	ジゼル・ブルレの音楽美学とその音楽美学史的な位置づけ	2016/3/20
甲816号	博士（芸術学）	コマツバラ アヤ 小松原 郁	マントヴァ侯ルドヴィーコ・ゴンザーガ治世期における君主の顕彰図像と信仰 ——マンテーニャ作品再解釈に基づく15世紀マントヴァ宮廷美術考——	2017/3/20
甲1056号	博士（芸術学）	パク ズヒョン 朴 株顯	朝鮮絵画における西洋画法の受容 ——李亨祿の冊架画を中心に——	2020/3/20
甲1192号	博士（芸術学）	ネゴロ タカアキ 根来 孝明	書における「正統性」の生成と変容 ——趙孟頫の王羲之像（イメージ）分析を起点として——	2022/3/3
甲1318号	博士（芸術学）	オウ ブンライ 汪 文磊	大観から小景へ ——11世紀から15世紀の東アジア山水画史試論——	2024/3/20